

映画発明100周年
The 100th Anniversary of Cinema

Moving Image

岩井俊雄

Toshio Iwai

古川タク

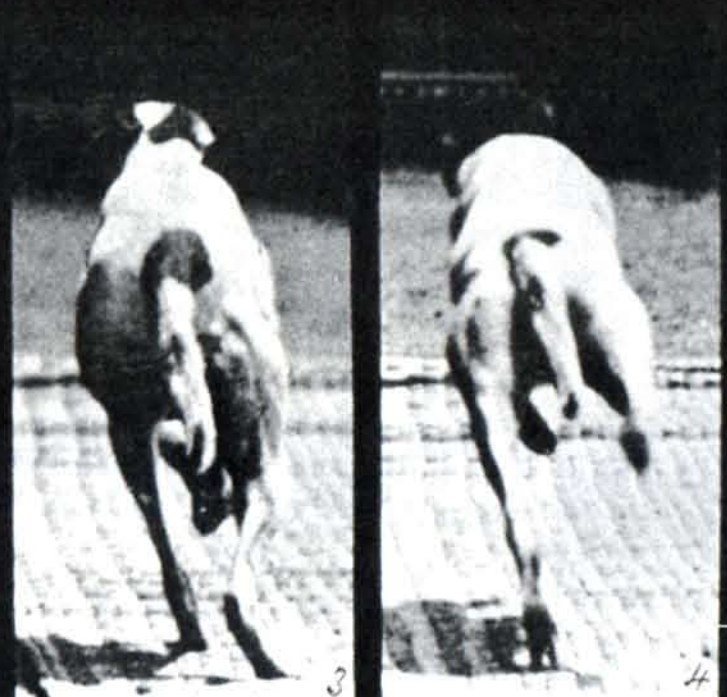
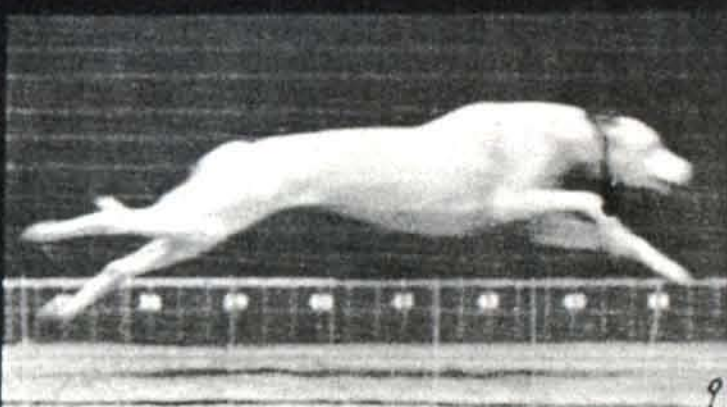
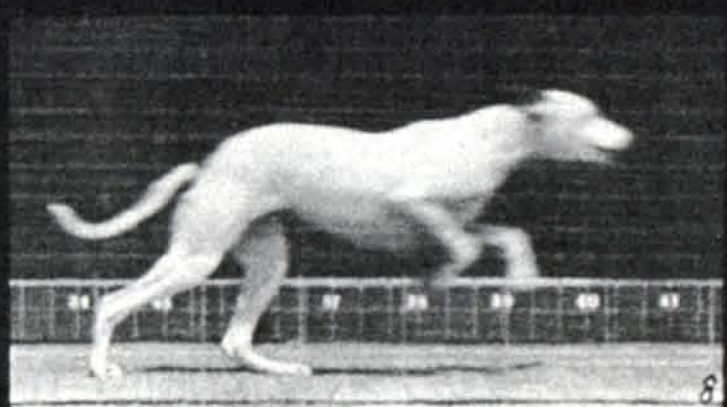
Taku FURUKAWA

エティエンヌ＝ジュール・マレ

Etienne-Jules MAREY

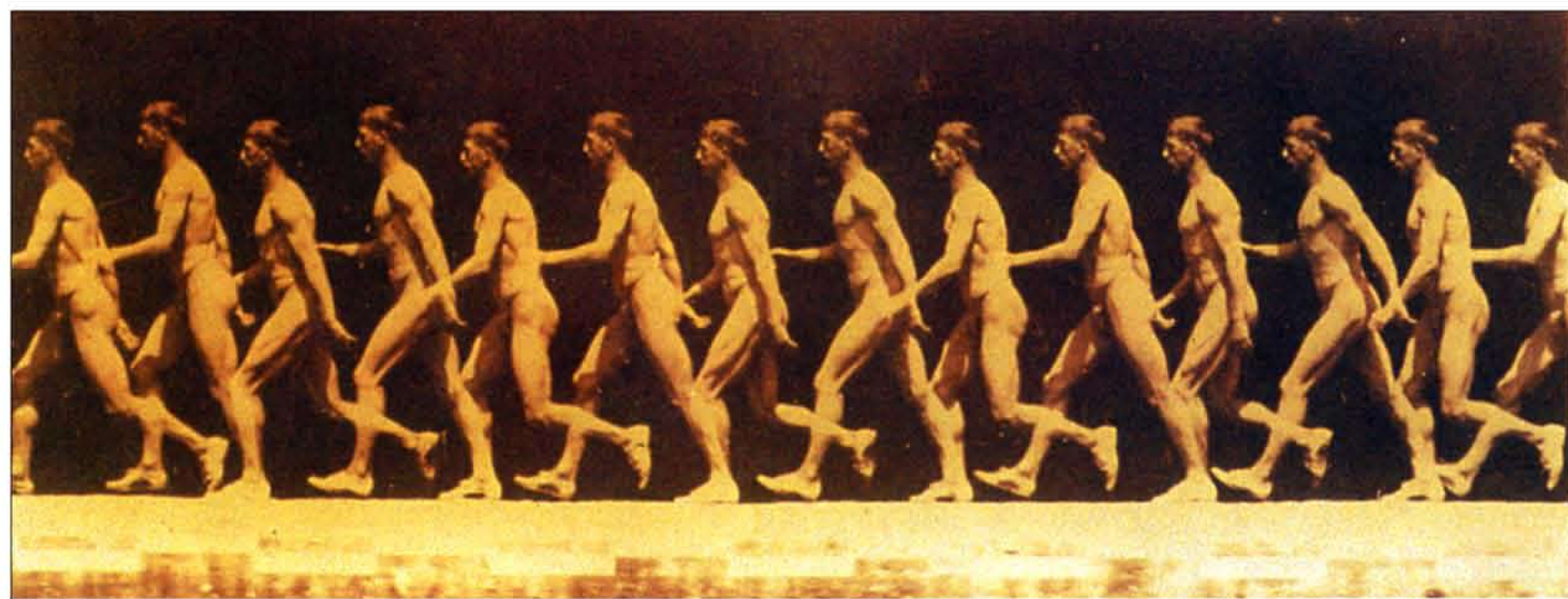
イードウィアード・マイブリッジ

Eadweard M.

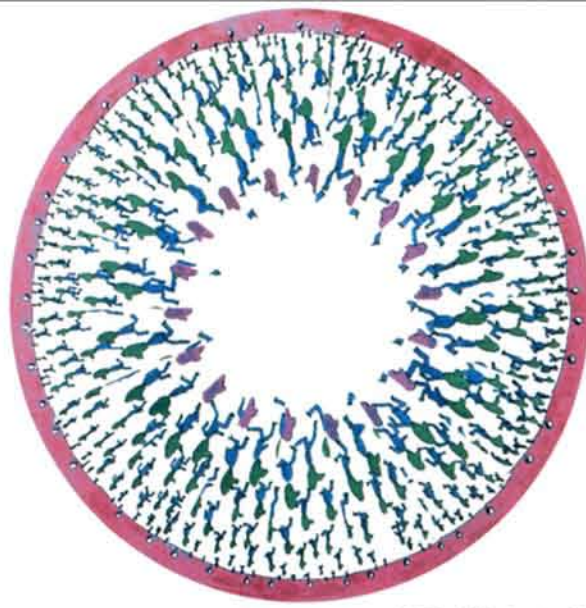


映像工夫館作品展 Images and Technology Gallery Exhibition
ムーヴィング・イメージ—映画発明100周年
1995年11月28日(火)→1996年1月28日(日)
Tuesday, Nov. 28, 1995—Sunday, Jan. 28, 1996

東京都写真美術館



無題 エティエンヌ＝ジュール・マレ 1885～90年



驚き盤 古川タク 1975年

Moving Image

ムーヴィング・イメージ

映画発明100周年

The 100th Anniversary of Cinema

時間軸 II 岩井俊雄 1985年



リュミエール兄弟がパリで「シネマトグラフ」を発表してから、今年でちょうど100年になります。映画誕生100年を記念して、世界各地で映画の誕生に関する展示会が数多く行われています。映画の発明期やその後の広がりについては、多様な切り口から紹介がなされていますが、もっと根源的な「絵を動かそうとする試み」は、さらに古くから行われています。また、その試みは「流れ去る映像／過ぎ去ってゆく時間をつかまえた」という欲求にもつながっています。

本展では、そのような欲求の果てに繰り返された映画発明以前の試みや、過去の映像玩具に触発されて作られた現代作品、映像と時間軸について考察する新たな試みを展示します。連続写真によって対象の動きを切り取ることで、円環の装置の中に動きを閉じ込めること、動きと時間軸とを光や音・ニューメディアに変容させることなどを通して、多様な表現の可能性を探ります。

今回の展示では、作品の中に入りこんで体験できる映像インスタレーションや、映像玩具の現代的表現、先駆者たちによる連続写真の実験などが紹介されます。映画発明よりはるか以前に端を発している『ムーヴィング・イメージ』に思いを馳せながら、これらの試みを体験してみてください。

会期中、同時開催のテーマ展「アニメーション」にあわせて、関連の上映会(無料・定員200名)やワークショップを開催しています。詳細はお問い合わせください。

(表) 駆ける「マギー」 イードウィアード・マイブリッジ 1887年頃

映像工夫館 作品展
Images and Technology Gallery Exhibition
ムーヴィング・イメージ—映画発明100周年
Moving Image—The 100th Anniversary of Cinema
1995年11月28日(火)→1996年1月28日(日)
Nov. 28 Tue., 1995→Jun. 28 Sun, 1996
開館時間＝午前10時～午後6時(木・金は午後8時まで)
入館は閉館の30分前まで
休館日＝毎週月曜日
観覧料＝一般・大学生500円[400円]/小・中・高校生250円[200円]
〔〕内は20名以上の団体料金/常設展示室の観覧料を含む
会場＝地下1階映像展示室
主催＝東京都写真美術館
展示会のお問い合わせはハローダイヤルへ03-3272-8600



交通機関＝JR恵比寿駅より徒歩7分(恵比寿ガーデンプレイス内) お車でのご来館はご遠慮ください。

東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography
〒153 東京都目黒区三田1-13-3 Tel.03-3280-0031
1-13-3, Mita, Meguro-ku, Tokyo 153